

下出し述懐節(二揚)

二揚

「あ さ ゆう さ 四

中 ん 中 う 七 五 七^す

四 中、 五 中 七 五^工 中^ば 五 七

中^上 四^ヨ 七^ル 九 四八九^七四^中

五^う 四 中、 工^が 中、 七、 四

中^み 七^ル 四 中、 五 中

五 七 五 工 中^{「な} 五^り

七^す 五 七^み 四 中、 五 中 七

五^{「工} 中^ぬ 五[「] 七 中^{「上} 四 七[「]

四七^{「七八} 四 九 四八九^{七下尺} 七 工[「]

とう 四 中、 七、 五^や 中 五 四[「] 七

四 九 四八九^{七下尺} 七 四七^{「七八} 七

「た

「さ

七[「]

下出し述懐節（二揚）

二揚

3/3

一、朝夕さん お側 拝み 馴れ初めの
里や 旅しめて 如何し待つが

終始にわたって、本来1拍表記で
ある部分を都合上、2拍で表現して
います

七八九の音位が続く部分は七を人
差し指、九を小指で押さえられる位
置に左手を置く。いわゆる尺位にす
る

「花風節」より繋ぐ